

3月定例会は1日に開会し、23日に閉会しました。当初予算9件、補正予算11件（当初予算の補正2件含む）、条例7件（うち委員会提出1件）、一般9件、人事29件の計65議案を可決・承認・同意しました。

令和3年度の一般会計当初予算は前年度に比べ7億円減の1,013億円となりました。

令和3年度の重点政策

コロナの時代にあって、改めて市民にとって暮らしやすい環境を提供できるように、チーム一丸となって様々な課題に取り組み、3本の柱でまちづくりを進めていく。

1. 安全・安心
2. 経済活性化
3. 子育て・教育・スポーツ

令和3年度の予算

背景

- ◆新型コロナウイルス感染症の影響により地方税等が大幅に減収となる中、防災・減災、国土強靱化や地方創生の推進、地域社会の維持・再生等の重要課題に取り組みつつ、安定的に財政運営を行うことができるよう、地方一般財源総額について、前年度と同水準を確保することとされている。
- ◆経済状況については、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にある。国の各種経済対策や本市の追加支援策もあいまって、幾分持ち直しの動きが見られるものの、経済の水準はコロナ前を下回った状態にとどまり、地域経済の回復はいまだ途上にある。そのため、行政として市民の生活をいかに守っていくのか、今、行政に何が求められているのかを確実に受け止め、市民生活や企業活動を支えるための事業を展開する必要があると考える。
- ◆健全な財政運営に配慮しつつ、限られた財源を最大限に活用し、地域経済の好循環の確立につながる取り組みを積極的に進めるとともに、市民が幸せを実感できるまちづくりに重点を置いて予算編成を講じている。

令和3年度の予算総額

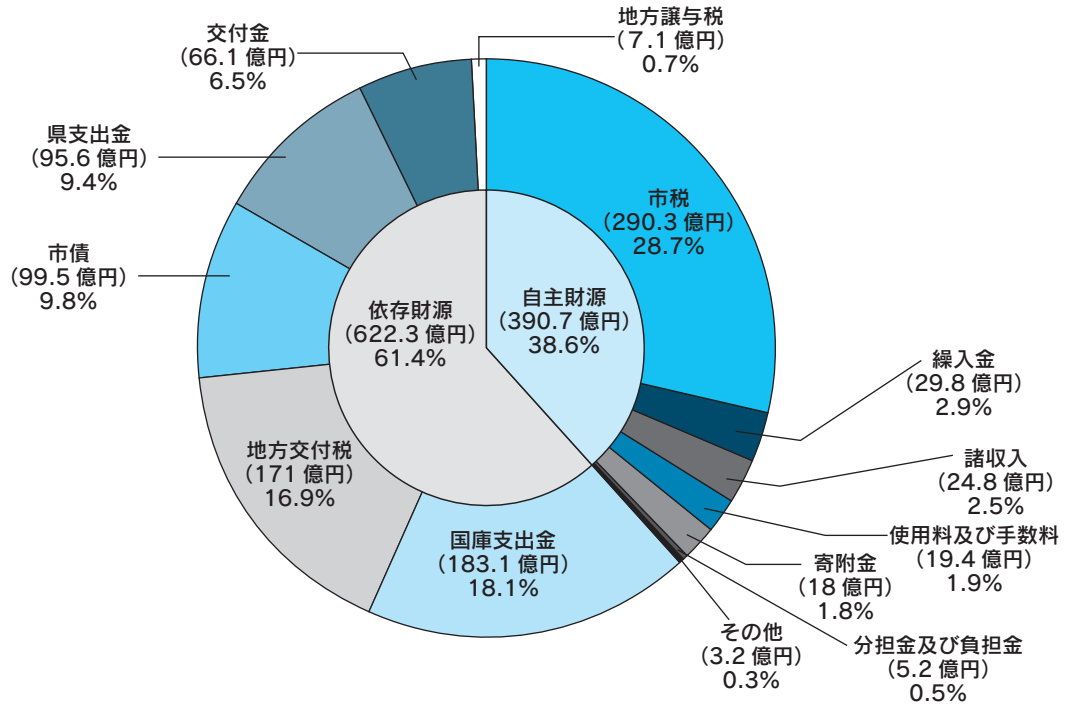
会 計		予算額	増 減(前年度比)
一般会計		1,013億円	△7億円 (△0.7%)
特別会計	国民健康保険	264億2,300万円	△4億5,500万円 (△1.7%)
	国民健康保険診療所	1億1,200万円	△100万円 (△0.9%)
	後期高齢者医療	34億4,500万円	△2,300万円 (△0.7%)
企業会計	自動車運送事業 (市営バス)	12億2,000万円	△7,100万円 (△5.5%)
	水道事業	68億3,900万円	△2億4,300万円 (△3.4%)
	工業用水道事業	1,800万円	△100万円 (△5.3%)
	下水道事業	178億4,900万円	+28億5,500万円 (+19.0%)
	富士大和温泉病院事業	17億9,500万円	+5,800万円 (+3.3%)

※ 端数処理のため、増減率が一致しない場合があります。

◎令和3年度当初予算一般会計の状況

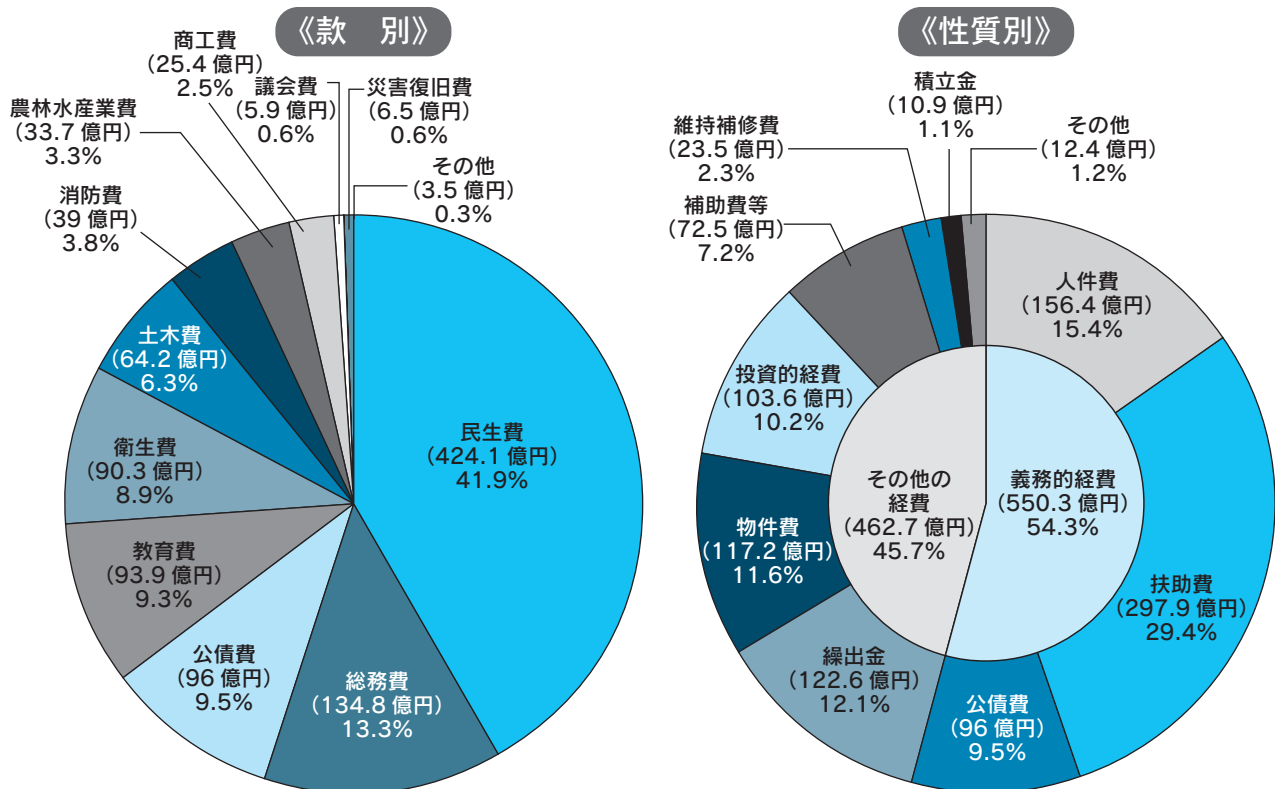
【歳入】

〔歳入総額 1,013億円〕



【歳出】

〔歳出総額 1,013億円〕



※端数処理のため構成比が一致しない場合があります。